

地質ニュース

第432号 1990年 8月

目 次

ロマプリータ地震による被害編集委員会

特集：地震と地盤—誌上シンポジウム

地震と地盤—誌上シンポジウム開催にあたって佐藤興平・小出 仁・6

サンフランシスコ（ロマプリータ）地震衣笠 善博・7

関東平野の地震と地盤

I 関東—東海地域の地震活動とプレート構造石田 瑞穂・18

II 首都圏直下の大地震活動の消長と東海・関東巨大地震石橋 克彦・27

III 関東平野の地殻水平変動多田 堯・31

IV 関東平野の基盤構造長谷川功・駒澤正夫・37

V 首都圏の第四系遠藤 秀典・45

VI 東京湾周辺の埋立地大嶋 和雄・50

VII 液状化による地震災害遠藤 秀典・58

地盤と防災のエンジニアリング

I 地盤と地震災害片山 恒雄・61

II 地震工学における地盤の扱い山崎 文雄・66

III 地中構造物の耐震設計小長井一男・72

地震の予知と防災—今後の問題—小出 仁・77

I G C事務局ニュース81

学会掲示板82

GEOLIS フロッピーディスク公開のお知らせ17

新刊紹介49

地質調査所研究講演会のお知らせ80

表 紙

ロマプリータ地震による高速道路の崩壊：1989年10月17日のロマプリータ地震（M 7.1）は、震源から90kmも離れたサンフランシスコ湾岸地域の特に地盤の弱い地区に大きな被害をもたらした。オークランド市サイプレス地区では、高架橋（1957年竣工）の崩壊により、42名が犠牲となった。表紙の写真は、二層式高架橋の上層が柱部の破損によって下層まで落下した状況を示す。設計水平震度0.06gに対し、0.25g程度の最大水平加速度が作用したと推定されている。（写真提供：米国地質調査所（Photograph courtesy of U. S. Geological Survey）；文：編集委員会 佐藤興平）

編集地質調査所

茨城県つくば市東1-1-3

Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

発行株式会社 実業公報社